

NSN通信

Nursing Students from Niigata
第6号/2022年12月

<発行>
高等教育コンソーシアムにいがた看護系大学タスクフォース
第4号担当→新潟青陵大学
第5号担当→新潟大学
第6号担当→長岡崇徳大学
第7号担当→新潟県立看護大学
第8号担当→新潟医療福祉大学



高等教育コンソーシアムにいがた看護系タスクフォースが制作するニュースレター「NSN通信」
今号は長岡崇徳大学の「『認知症ケア論』での学生の様子」や「災害ボランティア」について、ご紹介します！



★認知症ケア論について

本学では「認知症ケア論」という授業の中で、認知症とともに生きる人の体験を理解するためにVR教材を用いて学習を行っています。また、希望者はオレンジカフェに参加しました。オレンジカフェは、認知症の方やそのご家族、地域住民など誰もが集え、気軽に悩み相談や世間話などができる場所です。若年性認知症の方の家族と交流したり、認知症専門医とオンラインで意見交換をしたり有意義な時間を過ごしました。

★村上市荒川でおきた水害の災害ボランティアに参加しました

ボランティアサークルの学生が顧問の教員と共に現地に入り、復旧作業に参加しました。実際に罹災した家に行くと広い範囲での浸水や土砂の影響がありました。住民の方々からは「若い力に勇気を貰えた」と言ってくれたことができました。

(長岡崇徳大学看護学部看護学科 教員 大崎美奈子)



4年生から後輩へのメッセージ

長岡崇徳大学看護学部看護学科 4年 石塚里奈

4年間の学びの中で専門性を持った看護師になりたいと思うようになりました。

3年次の領域別実習で認知症の方を受け持たせて頂くことが多く、それを機に認知症に対し興味を持ちました。4年次の課題研究では認知症に関する研究をしています。また、認知症ケア論という講義を受講し、VR教材を用いて認知症の方の世界を疑似体験したり、オレンジカフェに参加させて頂いたりしたことで、臨床で認知症の方と関わる視点とは違う、地域で支える視点を学ぶことができました。

自分になりたい看護師像が明確になるということは、学習に対するモチベーションへ繋がっていくと思います。実習や国家試験、就職活動等すべきことはたくさんありますが、からだとこころの健康を大切に限られた学生生活を楽しんでほしいです。



<問い合わせ先(第6号)>

高等教育コンソーシアムにいがた看護系大学タスクフォース

長岡崇徳大学 看護系大学タスクフォース担当 (看護学部事務局/企画・連携課：内山)

〒940-2135 長岡市深沢町2278番地8 TEL：0258-46-6666